

## 市長開会あいさつ（要旨）

本日、議員の皆様のご出席を賜り、令和 5 年第 4 回安芸市議会定例会が開催できますことを厚く御礼申し上げます。

はじめに、プロ野球日本シリーズにおきまして、阪神タイガースが 38 年ぶりに 2 度目の日本一を達成しました。昭和 40 年以来、阪神タイガースのキャンプ地として、ともに歩んでまいりました本市にとって、待ちに待った日本一の栄冠でございました。

選手の皆様の健闘を称えるとともに、私たちに感動と勇気を与えて下さった阪神タイガースに、心から敬意と感謝を申し上げます。

続いて、「新庁舎への移転」についてであります。

去る、12 月 2 日の新庁舎内覧会では、多くの市民の皆様にご見学をいただきました。当日は、庁舎建設にあたり、ご尽力をいただきました、濱田知事や国会議員の皆様にもご臨席を賜り、盛会のうちに式典を終えることができました。

振り返りますと、平成 25 年に「新庁舎建設基本構想検討委員会」を設置し、議論を開始して以来、丸 10 年が経過いたしました。このたび、新庁舎建設の理念に沿った、災害に強く、誰も

が利用しやすい庁舎が完成いたしました。これもひとえに、新庁舎建設にあたり、貴重なご提言や、ご意見をいただきました市議会議員の皆様をはじめ、市民の皆様及び関係各位のお力添えによるものであり、厚く御礼申し上げます。

新庁舎での業務開始は、予定どおり年明けの 1 月 4 日となります。最も古い東庁舎が昭和 34 年に建設されて以来、60 年以上の歴史を刻んだ旧庁舎から新庁舎にバトンを引き継ぎ、新時代を築いてまいりたいと考えております。

次に、「国政等の動向及び来年度の市の予算編成方針」について申し上げます。

政府は、本年 6 月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針」、いわゆる“骨太の方針”におきまして、経済・財政一体改革を着実に推進し、「成長と分配の好循環」の実現を目指すとしており、国の概算要求方針におきましても、構造的賃上げの実現、官民連携による投資の拡大、少子化対策・こども政策の基本強化等に対応するために「重要政策推進枠」が示されたところでございます。

県においても、「高知県中山間地域再興ビジョン」の中で、「人口減少対策」や「若者の増加」、「デジタル化」を将来ビジョンに掲げた計画を策定しているところであり、こうした、国・県の取組と歩調を合わせ、時流を捉えた対応が重要であります。

本市の来年度の予算編成におきましては、新たな時代への起点となる節目として、次代に繋がる仕組みづくりに、注力してまいります。

重点項目として、「市制施行 70 周年を契機とする個性を活かした地方創生の推進」、「公共施設及びインフラ等の防災・減災・強靱化の推進・深化」、「人口減少対策と保育・教育環境の充実・強化」、「農林水産業の基盤強化と戦略的な観光施策の展開」の 4 つの分野を設定し、限られた財源を効率的かつ効果的に配分し、実効性の高い予算編成に努めてまいります。

それでは、市政の主要な課題等につきまして、ご報告いたします。

はじめに、「伊尾木川の有井堰頭首工災害復旧工事に係る魚道復旧の進捗」についてであります。

当該災害復旧工事における右岸側の進捗状況につきましては、河川環境に詳しい専門家への意見を伺い、復旧内容として、植<sup>しょく</sup>石<sup>せき</sup>斜<sup>しゃ</sup>路<sup>ろ</sup>である「小<sup>こ</sup>わざ魚道」と呼ばれる方法での方針を決定したところでございます。

この復旧方針につきましては、伊尾木土地改良区や芸陽漁協にも了解を得たため、現在、災害復旧事業での取扱いについて、協議を進めているところであり、引き続き、早期復旧に向け取り組んでまいります。

次に、「統合中学校の建設」についてであります。

11月末現在の進捗率は約88パーセントとなっております。プール棟におきましては、工事がほぼ完了しているほか、屋内運動場棟は、予定どおりの進捗状況となっております。

なお、校舎棟においては、躯体コンクリートの打設時に悪天候が続いた影響で、スケジュールの一部に遅れが生じ、建設労務を集約してきたことから、外構工事の一部に遅れが生じておりますが、引っ越しや開校に影響はなく、4月の開校に向け、引き続き、鋭意取組を進めてまいります。

次に、「市役所庁舎及び市立安芸中学校の跡地活用」についてであります。

今年度におきましては、庁内本部会において、明確なコンセプトを示した基本構想を策定することとしており、次年度からは、施設機能や規模感、管理・運営等を一括して事業発注ができる民間活力等の活用、いわゆるPPP/PFI事業導入についても検討してまいります。

この検討の流れにつきましては、国において、公共施設等の建設の検討を行う際に、近年優先的に導入すべきと推奨された方式でございます。従来の行政主導で進める取組と民間活力を活用した手法のいずれが、合理的なものになるのかを見極め、取組を進めてまいりたいと考えております。今後も慎重かつ、スピー

ディに実現性の高い活用策の検討を進めてまいります。

次に、「NHK 連続テレビ小説“あんぱん”の放送決定」についてであります。

2025 年に、高知県出身の漫画家やなせたかしさんと妻の暢<sup>のぶ</sup>さんをモデルにした「あんぱん」の放送が決定されました。

「いいなあ安芸」という、本市のキャッチフレーズを作成していただいたほか、ごめん・なはり線各駅のキャラクターをデザインしていただいた、やなせたかしさんに改めてスポットが当たることから、観光需要の起爆剤となるよう、「あんぱん」と連動した取組の準備を進めてまいりたいと考えております。

今後は、ごめん・なはり線活性化協議会とも連携しながら、観光施策の取組を検討してまいります。

次に、「市制施行 70 周年の取組」についてであります。

市制 70 周年を迎えるにあたっては、来年度の新規事業や冠事業などを検討するため、庁内に準備委員会を設置し、各課からの事業提案を集約するなど、実現化に向けて取り組んでいるところでございます。

また、先月 30 日には、本市と包括連携協定を締結している企業や教育機関との連絡会を開催し、市制 70 周年に関するご意見をいただきました。今後も庁内だけでなく、庁外においても協議を行い、節目の年に相応しい企画を練り上げてまいりたい

と考えております。

最後に、「三菱グループとの取組」についてであります。

三菱創業者・岩崎彌太郎の生誕地である本市におきましては、次代を担う子どもたちに対する「地域学習」や「キャリア教育」を推進するため、昨年度から三菱広報委員会と連携した「三菱探究プロジェクト」に取り組んでおります。

このプロジェクトは、本市の子どもたちが彌太郎の功績や志を学ぶとともに、三菱グループによる社会貢献や身近な生活を支える様々な仕事を知ること、郷土の偉人への敬意や自尊心の向上を図るものでございます。

本年度におきましては、キリンホールディング株式会社様、明治安田生命保険相互会社様に、来年 1 月 22 日、市立の両中学 1・2 年生を対象に『三菱の仕事、働く人』と題して、ご講演いただくこととしております。

今後におきましても、本市の子どもたちが将来の夢や目標を抱けるよう、三菱グループの皆様にご協力いただきながら、取組を進めてまいります。

また、来年 2 月には、かねてから誘致を呼びかけておりました神奈川県横浜市を拠点に活動をする「三菱重工<sup>イースト</sup>East硬式野球部」の春季キャンプ受入が決定しました。本市では、「スポーツキャンプのまちづくり」に取り組んでおり、今後も合宿を継続し

ていただけるようサポートしてまいります。

続きまして、今議会に提案いたしました議案をご説明いたします。

まず、予算案件は、令和5年度安芸市一般会計補正予算など6件であります。

このうち、一般会計補正予算は、主な増額として、国の臨時交付金を財源とする住民税非課税世帯価格高騰重点支援給付金 2億 1,000 万円、並びに物価高騰家計支援クーポンとして 6,400 万円を、土居消防分団屯所移転予定地に関する追加事業費 8,800 万円を計上するなど、総額 7 億 4,433 万 4 千円を増額するものであります。

次に条例議案は、「安芸市交通安全条例」など 8 件でございます。その他の議案は、報告案件 8 件、人事案件 1 件、契約案件 1 件、その他案件 1 件の計 25 件であります。

各議案につきましては、後刻、副市長並びに担当課長から詳しくご説明申し上げます。

十分にご審議をいただきますとともに、それぞれの案件につきまして、適切にご決定を賜りますようお願い申し上げます、開会のごあいさつといたします。